

Me~dia 10

CONTENTS

書評コンクールのお知らせ	3
いまどきの名大生協活動報告	4
新入生歓迎スタッフ大募集♡	6
狂乱読書日記	8
愛のドライバー教本	16
食環班の3分間News	20
下宿生活を斬る	22
まんた	24
Peace Now! Hiroshima '94	26
組合員の声コーナー	28
ゆうべのひとこえ	30
Me~dia Information	33
Information	35
兄貴の挑戦	37

第11回 書評コンクール

のお知らせ

毎年恒例の書評コンクール（名大生協院生委員会主催）が今年度も開催されます。
今回のテーマは「活字の海で泳ぐ」です。

いつもはほかの人の書評を読んでいるだけのあなたも、たまには自分のお気に入りの本をみんなに紹介してみませんか？応募要領は以下のとおりです。

応募要領

- ・応募資格 名古屋大学在籍の学生、院生、研究生、教職員
- ・応募部門 1500字部門、100字部門。1500字部門は、本文が1500字前後、100字部門は本文が90字以上110字以下です。
- ・応募方法
 1. 各応募作ごとに所定の応募用紙（封筒型、書籍部カウンターなどにあります。）に必要事項を書き込み作品をその中に入れます。
 2. それを生協院生委員会、書籍カウンター、生協理事会室（北部厚生会館2階）に提出するか、専用ポストに投函するか、郵送してください。
- ・締切 1994年11月8日

審査

- ・各部門とも、学生の部と院生・研究生・教職員の部に分けておこないます。
- ・審査は名古屋大学の先生方および書評編集委員で作る審査委員会がおこないます。
- ・100字部門は、一次審査を書評編集委員会が、二次審査を審査委員会がおこないます。

賞品

- ・最優秀賞 図書券2万円（学生、院生・研究生・教職員部門、各部門1名）
 - ・優秀賞 図書券1万円（各部門2名）
 - ・参加賞 100字部門図書券500円、1500字部門図書券1000円）
- ※作品は複数応募できますが、参加賞賞品はおひとりあたり3作文（図書券2500円）が上限ですのでご了承ください。（たとえば、1500字評を2本、100字評を3本応募された場合、 $1000 \times 2 + 500 = 2500$ 円分の図書券になります。）

発表

- ・「書評」56号（1995年2月発行予定）で審査結果を発表するとともに、優秀作品を掲載します。

※詳しくは生協書籍部カウンターに置いてある応募用紙や「書評」54号をご覧ください。

ふるってご応募ください♡

いまどきの名大生協活動報告

Imadokino Meidaiseikyō Katudouhoukoku

あの猛暑はどこへやら。この頃では朝晩はずいぶん冷え込むようになって、吹いてくる風にも秋を感じるようになりました。

前任の奈月さんにかわって今回から私、長嶋千恵がこのページを担当する事になりました。まだまだ未熟モノですが、奈月さんのように読みやすくわかりやすいページがつかれるように頑張るので、みなさんよろしくお祈りしますね♡



<理事会報告>



今回は食欲の秋ということで(?)、食堂の企画の特集です。

フレンドリィ南部

オープン一周年!

あのフレンドリィ南部ができてからもう1年がたちました。南部地区で唯一のカフェテリアスタイルの食堂ということですから定着して、いまでは南部地区の食数のほぼ20%を占めるまでになりました。というわけで、1周年の記念と今までの利用のお礼ということで、フレンドリィ南部で1周年記念企画が10月いっぱい行なわれます。また、それに合わせて(便乗して?)ほかの食堂でもそれぞれオープン〇〇周年企画が行なわれます。

企画期間中は例えば…

フレンドリィで副菜が半額 (10/17~28)

北部で豚汁が40円 (10/24~28)

などなど、いろいろお得なことがあるので、ぜひいろんな食堂をのぞいてみてください。どんな企画があるのかは、詳しくは食堂に置いてあるビラに書いてあるのでそちらをご覧ください。

■ ■ ■ 秋といえば…新米企画 〇^{!!!} ■ ■ ■

■ 11/7~12には生協の食堂全店舗で新米企画があります。後述の「農業体験ツアー」で収穫したとれたてのお米が生協の食堂で食べれるわけです。■
■ 少々値段は高くなるかもしれませんが、せっかくの秋の味覚をたまには楽しんでみるのもいいんじゃないでしょうか。■



＜学生委員会活動報告＞



行ってきたよ！ヒロシマ・オキナワ

8/3～6に広島で「Peace Now! Hiroshima'94」というセミナーが行なわれました。また、8/26～31には毎年恒例の「オキナワの旅」が行なわれました。今まで知らなかった事実を知ったりして、参加した人はそれぞれいろんなことを感じたり考えてきたりしたようです。参加者からの報告が24～27ページにあるので、くわしくはそちらを読んでください。

新入生歓迎活動が始まります

なんで今ごろ新入生？と思うかもしれませんが、毎年この時期から新歓は始まっているんです。（実際、経済学部の推薦入試は11/25にあります。）学生委員会では毎年Cooperという新入生歓迎スタッフを募集して、一緒にいろんな新入生歓迎活動をしています。この後のページでCooper募集のお知らせがありますので、どんなことをやるのかななどの詳しいことはそちらを読んでくださいね。

学 調

生の消費生活に関する実態 査

毎年恒例の「学調」。大学生の生活や行動と生協の利用状況などを明らかにするために全国規模で行なわれているアンケート調査のことです。名大の場合25人に一人の割合でサンプラー（調査対象者）を無作為に選んで協力をお願いをしています。サンプラーに選ばれて、突然のハガキや電話による協力をお願いにもかかわらず調査に協力するといってくださいましたみなさん、どうもありがとうございます。アンケートは10/21を締切に回収されて、12月頃に集計結果が分かります。アンケートの結果は今後Me~diaなどでも報告していこうと思っています。

～留学生と日本人学生の交流企画～

稲刈り編
農業体験ツアーがあったよ

10/1～2に農業体験ツアーが行なわれました。（この夏の猛暑のおかげで稲の生育が異常に早かったため、先号のMe~diaで予告した日程よりも半月早く行なわれました。）今回の参加者の出身国はハンガリー・バングラディシュ・マレーシアなど非常に多彩でした。6月の農業体験ツアーのときに植えた稲を刈りにいったのですが、記録的な不作だった去年と違い、お米のきは最高！ただ、2日まえに来た台風のおかげで田んぼの中はどろどろ。みんな泥だらけになって稲刈りをしました。稲刈りの後は、みんなで夕ご飯をつくったり体育館で円陣バレーをしたり寝部屋で遅くまで話をしたり（管理人さんごめんなさい…）と、とても楽しい一夜を過ごしました。きっと来年も農業体験ツアーは行なわれると思いますので、今回参加しなかったみなさんも、ぜひぜひ行ってみてくださいね。



文責：常任理事 長嶋千恵

♡♡♡ 新入生歓迎 STAFF 大募集 ♡♡♡

さあ、新歓の季節だ♡

秋休みも終わっちゃったし、ぼやぼやしてたら一年間おわっちゃう。そしたら新入生が入ってくるんだ。もう今ではお馴染みとなってしまったCampus Lifeにドキドキしてた新入生の頃が思い出せるかい？あたりまえだけど新入生って（ほとんど）みんなそうなんだよね。上級生がちょっとすごい人に見えたり、これからどんな毎日が待ってるのかなってわくわくしたり……。

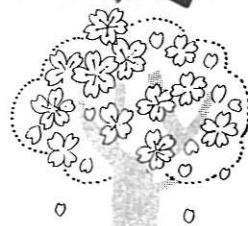
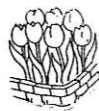
ぼくたちはそんな新入生を「Co-oper」ってよばれる新入生歓迎STAFFで思いっきり盛大に歓迎しちゃおうって考えてるんだ。「Co-oper」って正式名称は「名古屋大学消費生活協同組合新入生歓迎実行委員会」。要は生協に関わって、来年度の新入生歓迎をするって奴らのこと。学部も学科も気にしない。とにかく新たに入ってくる新入生をみんなみんな歓迎しちゃおうぜっ！

新入生と
いっしょに楽しく
写真撮影☆



ところで新歓って何？

え？歓迎っていったって何をやるかわからない？じゃあ生協でやってることの一覧表を次のページで紹介しよう。こんな新歓を新入生は、不安が取りのぞかれたり、いっぱい友達作ったり、大学でやっていきたいこと見つけたり、それを一緒にやっていく仲間をみつけたりして、そうしてだんだん名大での生活を楽しめるようになってく。新歓やって出会った新入生とすれ違ったとき「せんぱいっ」ってうれしそうに笑ってくれるとなんだかとてもうれしくなる。そいつが大学生活楽しいよ、なんていつてくれたら尚更だ。もう、ほんと、新歓をやる上級生の醍醐味。



でもそれだけじゃなくってもつとおいしいコトもある。新歓ってけっしてある上級生がひとりっきりで作れるものじゃないよね。だから、多くの一緒に新歓やってく上級生の仲間（一緒にCo-operやる人たち）とも知り合いになれるんだ。一緒に新入生のころどうだった？とか今どんな生活してる？とかいろんなこと話してく中で、いろんなことが見えて視野だって広がる。自分自身の大学生活って実は結構たいしたもんだったんだなっとか気付いたりすることもある。名大がちょっと好きになったり、自分もつと好きになったり！

こういうことって一回新歓やってみなきゃわかんないけど一回やったことのある人はたぶんみんな知ってる。新歓ってそういうものなんだ。

だから、きみも一緒にやってみようよ新歓に関わる時間はあなた次第でいいから。今年は10月28日(金)~29日(土)のとまりがけで第一回Co-operミーティングをやります。その前に、何度かCo-oper説明会もやります。日程はまだ未定ですが決まりしだい全学共通教育棟にポスターをはったりしてお知らせしますので、気軽に立ち寄ってみてください。一緒に新歓しよう！

お問い合わせは…

052-781-5195 名古屋大学生協学生委員会
南部食堂と南部生協の間の道の奥の学生委員会室に直接来て
もいいです

連絡なしでCo-oper説明会やCo-operミーティングに参加するのもちろんOK

「今、部活やってるから、Co-operもやりたいけど時間の都合がつくか不安だなあ」とか質問何でも受け付けます（ちなみに、去年部活をやってるCo-operはいっぱいいたから大丈夫）

Co-Operってこんなことするゾ!

受験対応手続き対応

受験生、新入生に役に立つ情報はなにながなって色々考えて作った色々な冊子を作って配ったり、実際に受験生と話をしてみたりして、不安を取りのぞいて楽しい大学生活への第一歩を導く。実際には以下のとき対応したよ。

経済学部推薦入試受験対応 合格者手続き対応	名大で一番最初の試験。人より早い受験で不安も大きい受験生をやさしく励まそう。
センター試験対応	受験生を励ます冊子を配ったり、名大内の道案内をしたりした。
推薦合格者手続き対応	一足早くおめでとうって言って、ぼくらがこんな下宿を送ってるよとか大学生活を紹介したりする冊子を作って配ったんだ。
受験宿泊相談コーナー	生協で受験宿泊斡旋してるんだけど、その受験生がとまってるホテルにいて、相談コーナーを作る。次の日、何時ごろでたらいいかなあとか、消しゴム忘れたけどどこでかえるのかなとかそんな受験生の小さな心配を打ち消してあげるんだ。
前・後期入試受験対応	道案内とか、合格祈願袋を配ったりする。合格祈願袋の中には「キャンパスライフガイドブック合格祈願号」とか、語学のとり方案内「One Step Ahead!」とか、下宿の探し方案内「住めるかな」とかがぎっしりつまってた。
前・後期合格者手続き対応	いわゆる地獄の細道だっ!合格おめでとう袋を配る。中にはやっぱり「名大近郊マップ」、セミナーとか教職とかのアドバイスをした「Do it!!」、下宿生活の仕方アドバイス「ひとりで住めるもん」、あと「キャンパスライフガイドブック合格おめでとう号」などがぎっしり。
生協ガイダンス	総合的な名大案内冊子「題名のない名大」、ちょっと変わったモノ紹介「名大内外怪しいモノ図鑑」、サークル紹介「サークルに入りたい人は読まないでください」、余暇生活提案「チャート式よくわかる旅」を配った。

この時の
新入生はみんな
ほんとに
うれしそうで
ういういしくて
かわいい♡

ひととひととの交流

新入生は新しい友達をいっぱい作りたいよね。そんな機会を設けてみよう!

新入生のつどい	でたことのある人もいっぱいいるよね。毎年新入生100人規模で2回行なわれるつどい。みんなで楽しく遊んだり、夜にはじっくりお話したりするんだ。ここで知り合いになった友達とは4年間ずっと仲良くなれたりする。
下宿生のつどい	自分の下宿の近くの友達ほしいよおって思って、新入生30人くらいの小規模で同じ地区の人と同じグループになって、一日、自炊してみたり出身地自慢してみたりして楽しんだ。

ってわけに昔うけた新歓が心に残ってる人も、なんか自分はよく覚えてないけど楽しそうだからやってみたいって人も待ってるよ。いっしょにやろうよ!!

written by AS

狂乱読書日記

～秋の祭典すぺしやる～

秋も深まり、月並みですがやっぱり読書の季節でしょう。と、いうわけで今回は狂乱読書日記大特集なんと8ページ。しかも、前担当者、「めちるめたふいじーく」の狂乱読書日記も久々におめえ! そのほか、Me~dia6での「左オライわかってる」さんのまんがが紹介してほしいというリクエストにおこたえして「Joe」が4作まんがを紹介。狂乱読書日記の常連投稿者「Tony」もビートたけし特集をくれてます。数々の豪華キャスティングでお送りする今回の狂乱読書日記。まずは、アメリカで話題になった「ジェネレーションX」について、ASとしんのすけが対談します。

ジェネレーションX

ダグラス・クーブランド/黒丸 尚訳/角川書店1,800円

しんのすけ: これはアメリカでなぜか知らないけどヒットした本なんだよね。日本でいうと新人類にあたる、ジェネレーションXと呼ばれるアメリカの若い世代の話。

AS: 内容を簡単にいうと、主人公は3人で住んで、3人ともジェネレーションXなの。それで自分たちの心的世界を話し合うのが好きで、その語りが中心で話は進んでいく。あ、ちなみに帯には、「最も90年代的な“透明な絶望感”を描くポストモダン世代のカルト・ロードノベル。“僕たちは何も欲しがらない。”」って書いてある。

しんのすけ: 描かれているのは非日常的な生活なんだけど、そこから導きだされる問題意識は自分たちの日常とつながっている。

AS: でも最初はすっごく読みづらいんだよね。なんか読むのやになってくるくらい。感じとしてはこの本の後書きにも書いてあるけどサリンジャーとか読んだときの感じと似てる。私はまだ一回しか読んでないんだけど、二回読んだら感じ変わりそう。

しんのすけ: たしかに一回目は登場人物の像が捕らえにくいところがあって、各章がつながった話だと思えないところもあった。そういうところが分かりにくいんじゃないかなあと思うけど、その捕らえ所の無いところがジェネレーションXという世代の特徴を表しているんじゃないかな。

AS: うん。まだきっと日本にはその世代がまだまだ少ないんだと思う。だから、私達が読んでも最初はピンとこないんだよな。

しんのすけ: この本が書かれたのは今から3年前で、その頃の時代を象徴するような言葉の解説がはしばしに載ってるんだ。たとえば「マックジョブ」はサービス業での低賃金、低地位、低尊厳、低恩恵、未来なしの仕事のこと。でも自分がそんなことやってるなあと思っちゃうけど、こんなことバイト先の先輩にいえないや。(笑)

AS: そうそう。私まさにマックでバイトしたことあるし(笑)。結構、日本でも通用しそうな単語も多いんだ。「スラミング」っていうのがあってさ、たとえば「会話スラミング」っていうのは、任意の会話をそこに知性的正確さが欠けているがゆえに、自意識過剰気味に楽しむこと。そんなふうにもっと色々なスラミングがあって、そこでは自分の能力をのばそうっていう姿勢がない。のばさないままで楽しみたいっていう姿勢なんだ。

しんのすけ: そういう考えはどちらかというと、自分の周囲の世界自体を変えるんじゃないかと、世界の捕らえ方を変えて、自分が違う世界にいるように感じている。

AS: ラリってんだよね。日常が。薬とか使ってるわけじゃないけど。なんか、現実から逃げ込んでるっていうか、外に向かって真っ向からぶつかってない。だ

から、この本読んでるとき、結構自分自身も自分の内部を考えちゃったな。

しんのすけ: 僕もこの本読んでて、本の中の人物と自分の考えとが合わさってきて、自分の知らなかった内面に気付かされた。

AS: そういえば「現在否定」って言葉もある。自分自身に生きがいのあった唯一の時代は過去であり、もう一度面白くなる可能性がある唯一の時代は未来だって。

しんのすけ: マーフィーの法則にもそんなのありましたね。

AS: あっちのが気楽に読めるけど。

しんのすけ: ちょっとみたら何の問題も取り扱っていない本に見えるけど、よく読んで考えてみると、時代そのものを書いていような気がする。

AS: だから問題なのはこの本自体ではなくて、この本が流行ってしまうという時代背景じゃないかな? アメリカってこわい(笑)ジェネレーションXって今どれくらいいるんだろうね?

しんのすけ: 潜在的にはほとんどの人がこのような考えを持っているんじゃないの?

AS: なるほどね。でもそれをみんなが表にだしたらやな世界だあ。

しんのすけ: おもしろいんじゃないの。みんなで愚痴りあうのも。

AS: そうだな。しんのすけそういうの好きそうだな。さては貴様、ジェネレーションXだな! じゃ、しんのすけ、最後に一言。

しんのすけ: BENCH PRESS YOUR I.Q.

ASの狂乱読書日記

スブラッシュ

大鶴義丹/集英社文庫/320円

夏は、ドラッグに似てる。

一秒一秒の中に永遠があったり、死にそうなくらい遊んだり、本当に死んじゃったり……。

海に行くのも夏じゃなくっちゃダメで、夏の女は夏だけの女。また夏になったら会えるかもしれない。でも冬には絶対会えない。

そんな夏がめいっぱい描かれているこの本。夏に読むのもいい。でも春や秋や冬に、夏に焦がれて読むのもいい。最近読んだ中で一番お気に入りの本です。

きっとこの本みたいな男にあったら、夏だけってわかってても、わかってるから、きっとハマってしまう。



ニードフル・シングス (上・下)
スティーヴン・キング/芝山幹郎訳/
文藝春秋各2,700円

実はキングの本を読んだのはこれが初めてだ。やっぱりパワーはある。上下巻読み通すのに全然苦がない。

ニードフル・シングス。ほしい物がすべて手に入る店。物と引き替えに要求される、金ではない代償を払う悪魔の店。

これは、その悪魔に払わされた代償で町ががたがたになってく話。(悪魔っていうオチはちょっと安っぽいような気もするけど) 上巻の最初と下巻の最後に同一タイトルである「あなた、はじめてじゃないね」の章がいい。悲劇が、繰り返される。



今夜、すべてのバーで
中島らも/講談社文庫/500円

一言でいっちゃえばアル中患者の話。でもそういわれてしまうと何だか、この本のような気がしない。なんでかっていったらアル中って言うと非難してるみたいだからだ、きっと。この主人公にはもっと好感がもてる。そう、アルコールにとりつかれた男。彼の入院のはじめから終わりまでが描かれる。そこでは生も死もすごく人間的だ。哀しくはなっても、寒々とはしない。それがなんか、いい。

Tetsuの狂乱読書日記

Peace Now Hiroshimaの
記事と合わせて御覧下さい

相対論のABC
講談社ブルーバックス

一見月並みな相対論の啓蒙書に見えるかも知れませんが、実はちょっと違います。この本の後半部分はほとんど、ナチス・原爆とアインシュタインといったかたちで話が進められあまり相対論そのものの話はでてきません。アインシュタインの生涯をベースにして、第二次大戦の経過を追い、どのようにして原爆はつくられたのか、原爆の開発にアインシュタインと、かの有名な公式“ $E=MC^2$ ”がどのように関わったのか、そして戦後のアインシュタインの平和活動など、実際の当事者の言葉を用いることでかなり明確に示しています。相対論を理解しながら、アインシュタインの「政治と方程式の間で引き裂かれていた」生涯を振り返ることができる数少ない本です。

狂乱へ愛をこめて

今号からMe~dia6の「左オーライわかってる」さんのご要望にお答えして、マンガの紹介をしていこうとします。

<君の手がささやいている>【1~3巻 軽部潤子 講談社 各390円】

mini連載中で今年度の講談社漫画賞少女部門の受賞作品です。少女漫画と言っても、ろうあ者の野辺見栄子（旧姓武田：1巻の最後で結婚する）が社会や家族との中で成長していく姿を描いた社会派漫画です。

ろうあ問題を扱った漫画としては、<遙かなる甲子園>【全10巻 山本おさむ 双葉社 各670円】以来の傑作だ。といってもく遙かなる~>みたいに涙なしでは読めないような大作ではなく、ほのほのとした柔らかい雰囲気作品です。何より美栄子の娘のちーちゃんがすごく可愛い(3巻の時点では3歳ぐらい)。

この作品で一貫しているのは、ろうあ者は何も特別の人間ではなく、僕らと同じような普通の人間だということ。美栄子も仕事で、恋愛で、結婚で、出産でとその都度悩み、迷うのだが、まわりの励ましなどで乗り越えていく。僕らも生きていく中で悩み、迷う。そういった悩みは誰もが持つ当たり前のものであり、ろうあ者であろうと健常者であろうと同じ次元の出来事なのだ。

まあとにかく、こいつはとびっきりHeart Warmerなお話です。



<栗田のトラクター 全4巻 新・栗田のトラクター 1~4巻>【作:ケニー鍋島 画:前川つかさ 小学館 各500円】

週間ポストで連載中のいわゆる政治の裏How to本です。主人公は民自党中村派若手議員のホープ稲山の第1秘書筒井五輪。裏金の包み方から、政治とマスコミの癒着までの手口がこと細かく描かれている。

ストーリーは<加治隆介の議>など他の政治How toものが実際の政治を後から追いかけていったのと同様、この作品も実際の流れについていけずに、やっとなぜネコン疑惑から竹下派分裂まで来ているところだ(稲山の役どころは現新生党の船田元経済企画庁長官といったところか)。けれどHow toものとして一流だけでなく、政治活劇としてもまずまずおもしろい。

ただし、この作品を読み続けていると裏金や国対政治があまりに当たり前で当然のように描かれていて、そんなに悪いことではないように思えてきてしまうので御注意!!

ネームが多くて一冊読むのに時間がかかるので忙しい人も御注意下さい。



<夏子の酒>【全12巻 尾瀬あきら 講談社 各500円】

名作を名作たらしめる要素は色々あるが、この作品においては最終回の存在こそがそうであろう。最終回に来るまでもいい作品ではあるが、最終回が実に見事にまとめられていて、ドラマをより一層味わい深いものにしていく。

最終回、40年連れ添った杜氏の奥さんが夏子に「あの人はきっと『わしにはできすぎのいい嫁じゃ』と…。」と言うシーンがあるが、何度読んでも目頭が熱くなるのを感じる。

物語は、東京でOLをしていた利き酒の天才夏子が兄の遺志をついで、超苦労しながらも幻の酒米龍錦を復活させ、龍錦で醸造した「夏子の酒」を造るまでを描いている。

登場人物の一人一人がしっかりした設定を持っていて、そこから織りなされる人間ドラマが縦糸に、農業や過疎農村の問題、酒蔵の問題などが横糸になって作品世界をリアリティーのあるものにしていく。

P.S.日本酒の製造工程や日本酒の銘柄の実名がたくさん出てくるので、お酒に興味のある人や日本酒に詳しくなりたい人も1度読んでみてはいかがでしょうか。

<天 ~天和通りの快男児~>【1~8巻 福本伸行 竹書房 各550円】

近代麻雀ゴールド連載中のいわゆる「麻雀漫画」。絵柄はお世辞にもうまいとは言えないが、劇画調が苦手な人にはかえって読みやすいかもしれない。そして麻雀漫画最高傑作「哭きの竜」（能條純一）以来の、1つ1つの台詞に背筋にゾクゾク来るものを感じる作品である。天、赤木をはじめ登場人物一人一人の手造りが、台詞がとにかく破天荒でかっこいい。

ストーリー自体はいかさまでも何でも有りだし、主人公の引きはメチャクチャ凄いいし、麻雀の勉強にはならないけど、ルールをある程度知っていたら「鉄火場に巣くう男の生き様」を感じられるのではないだろうか。



今回は4コマなどショートギャグ漫画を特集してみるつもりですが、紹介したい、してほしいという作品・作者があったら是非アンケートに書いてください。



では、ちょっと気分を入れ替えて小説を2冊。

<カルパチア綺想曲>【田中芳樹 光文社 550円】

<白の迷宮>【田中芳樹 徳間書店 580円】

俺は中学の時に「銀英伝」に会って以来田中芳樹のファンをやっているのだが、まあとにかくこの人の運筆には困ったものである。基本的に長編小説が多いのだが、ここ2~3年は続巻が出てないシリーズが5つはある。実は読み切りすらしばらく出てない。ホントに困ったものだ。ところが春から続けて急に2冊も出た。まったくどういう人なのだろう。

話の舞台は「カルパチア綺想曲」の方は近代東欧を舞台にした冒険譚で、「白の迷宮」の方は夏の魔術シリーズの3作目。大学生の耕作と中学生の来夢コンビが活躍するファンタジー・ホラー？。

情景描写は相変わらず雰囲気を出しているし、主人公たちは相も変わらず元気で爽快だ。カルパチア綺想曲の背景設定など史実とフィクションをうまく混ぜ合わせていて、世界史をちょっとでもかじっているとそれだけで物語世界に入っていける。

ただ田中芳樹最大の魅力である「洒落っ気と皮肉のオブラートで包まれた正論」を使いこなせるだけのキャラクターが登場せず、2冊ともいまいち印象に薄い感じなのがちょっと期待はずれか。

それにしても、この作者には早く長編小説の方の続きを書いてほしいものです。

Tonyの狂乱読書日記

ビートたけし特集

「浅草キッド」

新潮文庫 440円

この本のテーマになっているのは著者ビートたけし自身である。そう、「浅草キッド」とはビートたけしのことなのだ。この本は彼が明治大学を中退してから漫才コンビ「ツービート」を結成し売れっ子になるまでを綴った、ビートたけしの自叙伝なのである。本の中では大学の中退をはじめとする、ストリップ劇場 浅草フランス座への就職、師匠 深見千三郎との出会い、漫才コンビとしてのデビュー…そんな、行きずりの連続ではないかとも思える彼の人生が語られている。

そんな彼の自叙伝の中にあって文章の随所に感じられるのは、どのような苦境や貧乏に直面しても決して消えない、彼の情熱とも野望とも思える心の炎だ。

「思い立ってしまったのだからしかたがない。「見るまえに飛べ」である。思い立ったがさいご、もう引き止めることができなくなっていた。」「今までの既成の漫才なんかとは桁外れに違うことをやらなくては絶対にウケやしない。なにかメチャクチャなことがやりたい。こいつらの漫才はなんなんだ、くらいのことを言わせなくちゃ、とても中央に出て行くことなどできない。」「もう焼け糞だ。何と言われてもいい。客を圧倒して打ち負かすような漫才をやってやるしかない。」

ケンカ腰で、男の人生これ全て勝負。そんな彼の不屈のファイトが感じられる一冊だ。



「少年」

新潮文庫 360円

(……このタイトル、字が逆だったらヤバいなあ。)

ビートたけし短編集、である。運動会の100m走に人生を賭ける「ドテラのチャンピオン」、母の再婚に動揺する兄弟を描く「星の巣」、旅行先で全旅費をたかられる「おかめさん」の3作が収められている。どれもビートたけしの著書で語られる彼自身の人生に引っ掛けてある感じがする。

中身は読んでのお楽しみとして、この3作を通じて感じられるもの、それはビートたけしの「女」に対する気持ちなのではないかと思う。どの作品を取ってみても、少年である主人公に影響を与える「女」が必ず描かれている。同じ人間でありながら、その生理的なしくみから性格の傾向まで何もかもが違っている「女」。そんな「女」に対するその時代時代での気持ちを綴ったのがこの「少年」のように思う。

ビートたけしは、あとがきで次のように言っている。

「少年を翻弄し、人生を教えるのは女なのだと思う。少女時代をすっ飛ばしていきなり女になってしまう女。怖い。しかし、そのわけのわからない怖いものに、40才になったオレは相変わらず魅きつけられ、翻弄され続けている。」僕は男で、つまり昔は少年だったわけで、女性に翻弄され、人生を教えられたことが確かにあった。やはり男は、「女」があってはじめて男たり得るのだろうか。そんなことを考えさせられる。



「教祖誕生」

新潮文庫 400円

ビートたけしの著書は今ではたくさん出版されているが、その中で最もフィクション性の高いと思われるのがこの「教祖誕生」である。この本は「とにかくも四十数年を生きてきて、ことあるごとに神の問題について考え続けてきた」と言う、ビートたけしの「神」についての考えをとりあえずまとめてある本と言えるだろうか。

女を取られたショックから宗教団体に入団することになる主人公和夫。その団体のリーダーで、経営を仕切る司馬、純真に宗教活動に打ち込む同僚 駒村。そんな彼らの間で交わされる言葉の随所に、著者ビートたけしの「神」観が語られている。

「神」とは何だ？人間に救いをもたらすもの、そんな存在が、人間と直接関るような存在が「神」と呼べるのだろうか？それは人間の甘えではないのか？本当の神なんてのは人間が生きようが死のうが関係ないんだ。生き死になんかぶつとばすような存在じゃなきゃ神じゃない！

「神」についての既存の概念に惑わされることなく、自分なりの「神」を追求していく登場人物達の姿が印象深かった。



「あのひと」

新潮文庫 360円

これもまた著者ビートたけし自身の人生から取ってきたような話がつまった短編集だ。ビートたけしに入門するラッシャー板前を主人公にした「あのひと」、わけのわからない冒険心に突き動かされる少年を描いた「やじろべえ」、その他全5作が収められている。

この本の随所で強調されていること、それはあとがきで著者自身が語っているように「見る前に跳べ」ということだ。ビートたけしによると、彼は自分の人生までもがこの言葉の通りだったという。

「見る前に跳べ」本を読みながら確かにこれは重要かもしれないと思った。彼の言うとおり、十分な準備をしてから事に望んでみるという姿勢では永遠に何もできやしない。仮になにかできたとしてもそれは自分の知恵の範囲を越えない。偶然を感じる、運命を感じる瞬間になど永遠に出会えない。

「今の自分はあまりに視野が狭く、セコい。もっとバカでもいいんだ、情熱の炎さえあれば！」この本に限らず、ビートたけしの著書はどれでも、読む度にそう思わせてくれる。

「だから私は嫌われる」

新潮社 1,000円

ビートたけしの著書には、小説の他にこの本のような「毒舌集」がある。世間を彼の独特の見地でもってメッタ切りにするというものだ。

この「毒舌集」に該当すると思われる本はたくさんあるが、その中でこの「だから私は嫌われる」は最もおもしろく読める本だった。国会議員選挙から巷のオバサンまで、世の中にあふれている矛盾を彼の鋭い目で批判する。「SEXは女の最終兵器」に始まり「子供はインテリアの一つ」に及ぶその文面だが、それがどこか筋が通っていて心地好い。それはものすごいエネルギーだ。言うことはデタラメかも知れないし、事実ビートたけしは本の中でもまるで正反対のことを言っていたりする。でも、そうやって激を飛ばし続けられる姿自体に、読んでいる僕は感動してしまう。いつになっても彼の魂のエンジンは全開のまま。ちなみに最終章「友達になりたくないひと」でターゲットになっているのは、「今の若いやつ」である。僕もそうだったけど、読んで「これはもしかしてオレのことじゃないのか？」と思ってしまう人は、きっと多いのでは？



かえってきた

めちるめたふいじーくの

狂乱読書日記

まぼろしの第7回

はじめに

進路がきまった。わーい、わーい。これで安心して蔵書をふやせる。

虫の惑星 1 詐欺師のホテルと蝶のマリリン・モンロー
 虫の惑星 2 社交的なバットと同性愛の南京虫
 ハワード・E・エヴァンズ 著
 ハヤカワ文庫NF 182・183
 本体価格 563円・544円

題名のとおり「むし」のはなしである。「こんなおもしろいむしがいます。こんなおもしろい習性があります。むしってのはこんなにおもしろくて、こんなにわからないことがあります」ということがやや饒舌にかたられている科学エッセイ。わたくしとしては、カブトムシのはなしとセミのはなしがないのが多少不満だが、よく知っている—むかし虐殺した経験のある—むしたち（もちろん一番みぢかにいる蚊や蠅やゴキブリの虐殺はつづいている）のはなしや、その存在にすら気づかなかったむしたちのはなしや、ここいらではあまりおめにかかれぬむしたちのはなしは、興味ぶかい。多分、おおくの日本人の読者は、（わたしとおなじように）ちいさいころ蟻の大虐殺をしてあそんだり、なつやすみに「昆虫採集」と称して、セミやトンボやチョウの無残な死体を大量生産したり、アンリ・ファブルの「昆虫記」（のダイジェスト版）を教科書でよまされたり、という体験をおもいだしたのしくよめるのではないかとおもう（どうしても「むし」には嫌悪感しかいだかないというかたもおいでだろうが）。

そのような、ちょっとした好奇心をみたしてくれるポピュラーサイエンスのエッセイ集としての側面をもつ一方、わたくしのような（そして読者のかたがたのような）初学者にとっては、「科学とはなにか」「科学者とはどうあるべきか」をかんがえさせてくれる側面をもっている。

たとえば、ところどころでいく度も言及される、宇宙開発偏重の科学研究の現状（註）は、人類の未来にとっていいことなのだろうかという問題。あるいは、最後の2章で展開される「沈黙の春」への批判と、自然保護の問題。

著者の言には、さすがにながく「科学者」をやっているだけあって、納得させられる部分もおおい（「科学者」はある意味、他のすべてのひとを納得させるのが仕事である）。

註：いるのかどうか分からない（どちらかといえば、どうひいきみにみても、否定的な証拠の方がおおい）宇宙生物の探索（さまざまなSETI計画など）に巨費を投じているにもかかわらず、（この本のタイトルのとおり、地球の生物圏の大部分をしめ、それゆえ広大な未知領域がある、ついでにいえば、農業・医療・その他の分野に多大な貢献をしてきた、そしてこれからも「役にたつ」であろう）「むし」の研究にはその十分の一もつかわれていないという（この本がでた1960・70年代の）現状。現在では、「宇宙開発にすら」おかねはでない。

追記1：日本のポピュラーサイエンスものや科学エッセイにはこのように「科学」自身の問題をさらりとわかりやすくかたってくれるものはすくない。そんなことにはひとことたりともふれないか、大上段にかまえてがちがちにかたいものしかないような気がする。



追記2：「沈黙の春」（レイチェル・カーソン、新潮社）への批判から、生物圏の破壊をもたらす化学物質等による汚染については、ながながとふれられているのに、「核」の問題については、1行しかふれられていない。これは、初版が30年もまえにかかれたものであることをかんがえあわせても、やはり著者はアメリカ人だなあと変なところに感心してしまう。「核」の問題についての科学者の態度については、たとえば「メタマジック・ゲーム」（D. ホフスタッター、白楊社）のなかの一章「ハボネスの物語」がおもしろい。興味があれば、御一読を。

（めちるめたふいじーく）

本家「めちるめたふいじーくの
狂乱読書日記」

○月×日

「現代ヨーロッパの言語」（田中克彦・Harald Haarmann、岩波新書）をよむ。現代ヨーロッパの68の言語の概説だが、国家と言語、民族と言語の関係をかんがえていて興味ぶかい。この本のでたあと、ドイツ民主共和国はドイツ連邦共和国に吸収され、ソビエト連邦は解体し、ユーゴスラビア連邦は分裂し、チェコとスロバキアは分離独立するという、ヨーロッパの言語状況をおおきく変化させる事態がおこっている。はてさて、なんかよんでると、かなしくなった。

○月×日

蔵書リストの作成。文庫本だけで300もある。半分がよんでないからいやになってきた。しかし、みおぼえない本にかぎって、ページをめくってみるとよんだことがあることに気づくのはなぜだろう。

○月×日

ひきつづき蔵書リストの作成。たわむれに、本の定価をたしてみる。70万円ぐらい。しかし資産価値は、そんなにあるはずがない。

○月×日

「ブルー・シャンペン」（John Varley、ハヤカワ文庫SF）。ちかごろヴァーリーの作品がばらばらとでてくる。よろこばしい。「PRESS ENTER ■」はひさしぶりによんだが、やはりおもしろい。なぞのブラックホールSF「ブラックホールとロリポップ」がいい。

○月×日

「近頃、気になりませんか？」（新井素子、廣済堂出版）。あまりたたかわない主婦のエッセイなので、欲求不満が少少たまる。

○月×日

うちにある本は、まだ、1000はこえてないらしい。

○月×日

「虫の惑星」の書評をかく。文才のなさに慄然とする。

（めちるめたふいじーく）

おわりに

これでおしまい。でも、またおあいましょう。

愛のドライバー教本

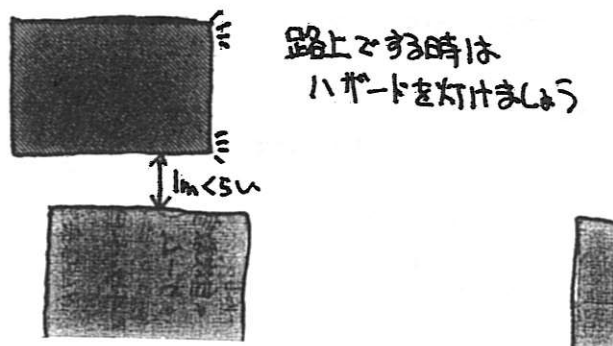
第4回「やっぱり縦列は苦手だ」の巻

こんにちは。テストもあけて、ますます冷え込んできた今日この頃、みなさまいかがお過ごしでしょうか。そろそろ免許を取られ、実際に車に乗っていらっしゃる1年生の方も少なくないと存じあげます。僕は路駐していた車に傷を付けられ、秋の空のようにさめざめと雨のように涙を流す毎日です。

さて、今回は駐車の方法について講釈させていただきたいと思います。免許を取ってどれだけ経とうとも、やっぱり苦手なこの種目、今回は写真入りでごくごく丁寧にすすめていきたいと思います。特に、運転席から見た状態の写真をみて、それと同じようになったときに、次の操作に移って頂ければうまく駐車できるはずですよ。つまり、これを見てやれば、僕もあなたも駐車のスぺシャリスト、というわけです。

4-1 「それでも縦列は気を使う」

縦列駐車をする機会ってよく考えると、路駐の時くらいしかないんですよ。つまり、前後に知らない人の車があるとき。緊張しますね。突っ込める限界は大体、車長+1mくらいですかね。



① スタート地点を決める。

前の車の1m弱横、心持ち前に付きます。[写真1-1]



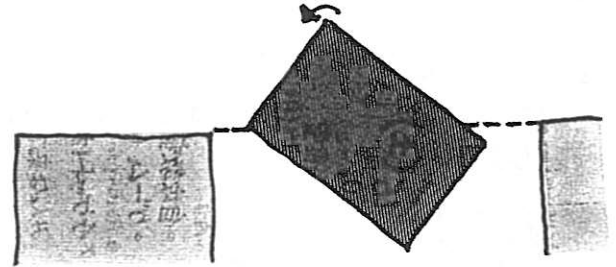
- ②ギアをバックに入れ、半クラッチで後退しつつ（オートマの場合はクリープ現象を使って）ハンドルを目一杯きる。
（この場合左）[写真1-2]



- ③後のバンパーが入ったら（この場合右の端）、ハンドルをもとに戻していきます。[写真1-3]



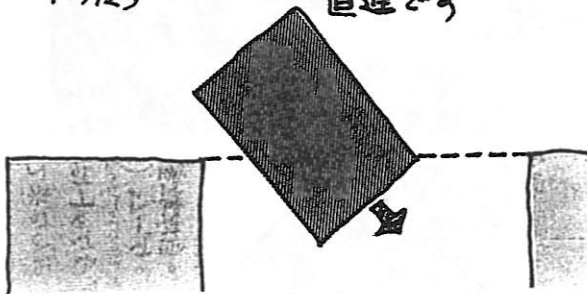
点線の内側にあたまが入ったら
ハンドルを右にきりましょう



- ⑤再びハンドルをゆっくりもとに戻していく。[写真1-5]



点線の内側にあいの外側が
入たら 直進です



- ④前のバンパーが入ったら（この場合左の端）、最初とは逆にハンドルをきる。（この場合右）[写真1-4]



とまあ、こんな感じですかね。文章よりも写真を見て理解して頂きたいと思います。注意点は左後を擦ることと、左前をぶつけること、後の車にぶつけることの三つです。

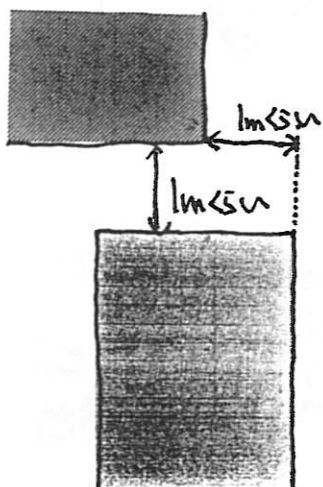
4-2 「車庫入れは無理をせず」

さあ、次は車庫入れです。理屈で言えば、車幅+10cmくらいで入りますけど、そういう馬鹿なことをやると車の横にカッコイイ稲妻マークが入ってしまいますからね。

①スタート地点を決める。

図のような感じで、間隔は1mくらい。

[写真2-1]



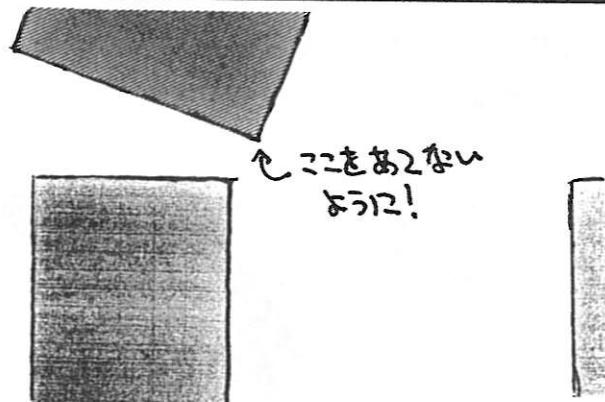
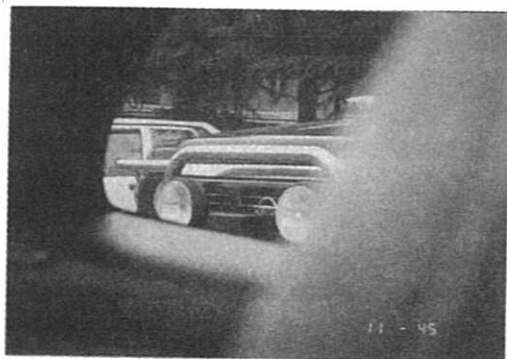
多少頭を
外にふっかくと
やりやすいですよ。



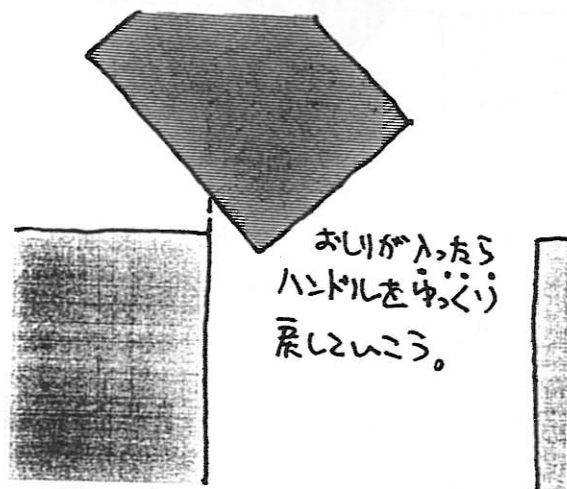
②半クラッチ（あるいはクリープ現象）

で、後退し、目一杯ハンドルをきる

（この場合は左） [写真2-2]



③うしろが入ったら、ハンドルを徐々に戻していく。 [写真2-3]



縦列に比べたら簡単なもんです、ハイ。注意点は右後、左後を擦ること、右前を外輪差でぶつけることの三つです。

4-3 「これで4ページは詐欺か」

縦列でも、車庫入れでも言えることですが、「駄目だ」と思ったら前にだしてやり直すようにすることです。あと、多少斜めでも気にしない、ということが大事です。変に真っすぐに入れることにこだわっているとぶつける可能性が増えるだけですからね。

車庫入れでやたらと後から入れる人がありますが、生け垣なんかがあるときは前から入れた方がいいですね。また、バックでも危険がないような状況だったら、前から入れた方が楽ですね。歩道が広くて、人通りが少なければ、歩道で切り返しっちゃってもいいです。とにかく、状況に応じて、可能なかぎり、安全で楽な方法を考えていくことが大切です。



4-4 おまけ「読者のコーナー」

毎回厳しくも温かい批評をしてくださるHAXONさん、ありがとうございます。前回の記事に対するのHAXONさんのご意見は「全学5万人の「愛ドラ」ファン…（4月号より）」等々の文章が無意味だというのだ。／バイクに乗ってないからといってバイクに触れずに、車に乗らない人にも読んでほしいというのはムシが良すぎないか。」というものでした。

まず、無意味な前ふりについてですが、個人的に好きなんです。あと、最初と最後のあいさつが思い浮かばないと、安易に書いてしまいます。御免なさい。最近はありませんよね。

次ですが、まったくです、ムシが良すぎます。でも、編集者の中でバイクに乗っていて、原稿を書いてくれる人がいないんですよ。バイクに乗ってない僕が書くと、どうしてもバイクに対する愚痴みたいになってしまうのです。隅を走れとか、センターラインを走るなどか、論調が「邪魔だからおとなしく走れ」という感じになってしまっていて、バイクに乗っている人のためにはならないのです。バイクを扱わないのはそういう理由があります。

さて、次はばさん「名所案内がよかった。でも新見南吉の記念館なんかはなかったねえ。それから細かい道は書いてなかった。水不足の際は洗車は控えましょう。」

基本的に前回の名所案内は、駐車場があるところを選んでいきます。車がない人にも見て頂けて幸いです。一応車を使う人のためのコーナーなので、そのようにしました。また細かい道がなかったことですが、あくまで「概図」で細かい道はご自分の地図を見て頂くというつもりですが、書き忘れていましたすみません。

食環班の3分間News

みなさんこんにちは。今回は、グリーンコンシューマーガイドのことと前回お話できなかったフェアトレードのことについて紹介していきます。どちらも環境にやさしい買い物を目指すということで共通した所はありますが、それぞれを今から詳しく話して行きましょう。

では、まずグリーンコンシューマーガイドを作った大野君より紹介してもらいましょう。

名古屋グリーンコンシューマーガイド（緑の消費者ガイド）発行間近！！

約一年の歳月をかけ、私たち愛知県内7大学（プラス社会人）13名のグリーンコンシューマーガイド作成委員会による名古屋版グリーンコンシューマガイドがこの10月の半ばに発行の運びとなりました。本のタイトルは「グリーンコンシューマーガイド「なごやの環境にいい店」」です。（なお次点は「なごやのどえりゃあ環境にいい店だぎゃー」であった）

さて、どんな本なのかというと、「環境により負荷の少ない買い物」をしたいと思ったときに、どの店にいき、何を買えば（買わなければ）よいかズバリわかる本なのです。編集方針としては、どの店が環境にいい取り組み、品揃えをしているか一目でわかるリストを作ること、また、環境によいとされる消費行動が、なぜ、どのくらいよいかのわかる情報をコラムなどにより提供し、行動提起としてもらうことなどに重点を置きました。

対象は名古屋市内の全スーパー、生協で、304店を調べました。調査をしてわかったこととは、トレーの削減についての名古屋市の条例の効果からか、トレーの削減については思いのほか取り組まれていたこと、全体としてお店の取り組みにはまだまだ不満が残るものの、むしろ消費者側の理解不足のほうが目についた

ことです。例えば、何件かのお店は野菜をはだか売りとトレーの好きな方を選べる状態で販売していますが、単価にして3倍トレーの方が高くとも、消費者のほとんどがトレーのほうを選ぶとのことでした。衛生面などを考慮するとも難しい問題ではありますが、お店の努力に私たちが応えなくては、どの店も環境に対する取り組みが困難になってくるでしょう。当たり前のことですが、これから必要なのは、お店のさらなる努力、行政指導の加え、私たちの積極的な環境への積極的な環境商品への選択行動でしょう。何とかこの名古屋の地に「グリーンコンシューマー」の考え方を根付かせるため、現在、行政や市民団体との対話を続けています。

問い合わせ先：0566-98-0345

大野響太（愛知教育大2年）

☆グリーンコンシューマーガイドは¥500
で販売の予定です。

なごやのグリーン
環境にいい店！



ここからはフェアトレードです。

まずはじめに……

みなさんは、「南側の国々」とか「第三世界の国」と聞いて、何を連想しますか？

“森林の乱伐や土地の砂漠化といった環境破壊がどんどん進行しているところ”と思う人もいるかも知れません。でもそれは決して好んでそういうことをしているのではなく貧困にあえぐ人たちが少しでも生活を楽にするため仕方なくやっていることなのです。それにもかかわらず、なぜ南側の国の人々の貧困は解消されないのでしょうか？その原因のひとつとして現在の貿易体制が先進国主導のものであることが挙げられます。主な一次産品の市場は先進国企業が独占し、関税システムをも操作しているため輸出による途上国の生産者の利益は奪われ、過去10～20年の間、より重労働、そしてより少ない収入を強いられてきたのです。このような状態の続くかぎり、南側の人々の生活は改善されないし、環境破壊もどんどん進むでしょう。



なお、フェアトレード商品はGLOBAL VILLAGEというNGOにて取り扱っております。お問い合わせは下記までお願いします。

〒222 横浜市港区篠原西町10-30 GLOBAL VILLAGE

TEL (045)435-0341 (平日9時～18時、土曜10時～13時)

FAX (045)435-0342

だからフェアトレードなんだよ！

「フェアトレード」はこうした生産者の犠牲のうえに成り立つ貿易ではなく、生産者と消費者が対等の関係にたつ公正な貿易をめざすもので、主な目的は次の通りです。

- ・生産者が労働者に相当する正当な賃金を得られること
- ・より良い労働条件が保障されること
- ・地域社会と伝統文化を尊重し、土地の資源を生かした継続可能な開発をサポートすること
- ・仲介業者など中間の経路を省くことでコストを削減するとともに、生産者グループが直接取引の交渉に関わる機会を作ることで、より多くの利益をもたらすこと
- ・先進国の消費者、企業、政府に不公正貿易の是正と環境、生態系の保護、尊重を働きかけること

このようなフェアトレードで仕入れた商品を買うことが第三世界のひいてはわたしたちの地球の未来を守ることにつながるのです。

みなさんいかがでしたか。興味を持たれた方は、問い合わせてみてはいかがでしょうか？他にこの記事に関する感想、御意見がありましたらアンケートにどんどん書いてお寄せください。

文責：なんの

下宿生活を斬る

今年も台風の季節がやってきました。台風にしても地震にしても災害とは怖いものです。というわけで、今回のテーマは「災害対策」です。

他己紹介

しんのすけ：現在自動車学校に通っていて、修了検定までに補習13回。現在記録更新中。理学部一年生。

てつ：この間原付を買って、ご機嫌でのり回している。車校でしんのすけのライバル。理学部一年生。

AS：この間のテストの単位発表の遅さに苦しんでいる工学部二年生。7コマあった彼女の語学はいつたいいくつ通ったのか。

めん：かなりアダルトな未成年。春は恋の季節です。夏は愛の季節です。秋は……？理学部二年生。

AS：読者のみなさんこんにちは。夏休み、秋休みの間ご無沙汰だったけど、元気だった？ところでこの間の台風は結構すごかったけどみんなどうしてた？

しんのすけ：バイトにいろいろかなと思って外にでてみたけどあきらめて帰っちゃった。

めん：いいのかそんなことして。

しんのすけ：ちゃんと連絡入れましたって！

てつ：今年は台風多いよね。来てるのはともかく発生してるのはね。

めん：天災は忘れた頃にやってくるというから普段から気を付けていないと危ないよ。

AS：でも26個も出来たら忘れないうちにやってきちゃうね。そういえば、台風のとき停電してた？

てつ：この辺ではしなかったけど岐阜三重だと、したところもあったらしいよ。最近のマンションで水を一度上に電気で汲み上げてから部屋に送る仕組みの所では停電すると水がでなくなるよ。

AS：うちさあ、4階で暑いから、窓あけっぱなしで他の人の家にいたら、朝ひどかったよおおお……。部屋の床が半分ぐらいわたわたとさあああ……。

めん：ニュースとか見てなかったのか？

AS：見てたけどまさかうちでとは…。

しんのすけ：お・馬・鹿・さ・ん♡

AS：(落ち込む)

めん：それは教訓として「雨の時は窓を閉めておけ」ということにしておこう。ちなみにみんな、何か災害対策とかしてる？

しんのすけ：九州にいたときに直撃した台風18・19号の時は、電気が三日間とまって、ろくなご飯が食べられなかった。非常食を用意しておくことは大事だよ。台風が来てからだと、スーパーとかも早くしまっちゃうし、コンビニとか行っても食料は売り切れてるんだ。

~めんの独り言~

さすが理学部。

非常食には、缶詰なんかを用意しておこう。レトロなあなたにはカンパンもお薦め♡カップラーメンやレトルト食品もいいけど、ガスも電気が止まると使えないぞ！食えんことはないが…。

てつ：うちは懐中電灯は置いてある。ラジオはあるけどステレオに付いたのしかない。

AS：それでは停電の時使えないではないか。雷とかで停電すると、ビデオとかつけてたりすると壊れちゃう事もあるよ。ところでみんな火災共済には入ってるかい？

めん：俺、はいつてたっけ？

しんのすけ：なんだったかな、それって。

てつ：僕は入ってるよ。うちの親父は保険とかに入るの好きなんだよ!!

めん：そのうち殺されるんじゃないか？

AS：火災共済に入っているとね、落雷で映らなくなったビデオやテレビとか、さっきみたいに台風で濡れちゃった家具とかね、給付の対象になるよ。

しんのすけ：畳でもでるかなあ。

AS：でるよ。要するに、台風とかで自分のうちの家財が損害を受けたら給付が受けられるのだ。



めん：あと気を付けたいのは、いくら次の日がゴミの日だからって台風の日にゴミを出しておくのはやめよう。

AS：うちの周りもね、大きなゴミが右と左に飛んでるの。どうやって逆方向に風吹いて飛んでったのか不思議だけど、絶対やめてほしいな。汚いし、危険だし。

しんのすけ：そうそう、うちなんかウルトラマンが飛んできたよ。

てつ：え、本物？

しんのすけ：それだったらうれしかったけど、ビニール人形だった。

めん：災害は台風だけじゃないけどね。

てつ：名古屋は東海大地震が怖いねえ。自動車学校でならったよ。

しんのすけ：この辺の避難場所ってどこにあるのかな。

めん：名大の近くだったら、名大付属校とか伊勝小学校になるよ。基本的に近くの小中学校になるが、詳しいことは区役所総務部か消防局防災室に確認をしておいたほうがいいな。

しんのすけ：下宿してたら近くに家族がいるわけじゃないから、避難場所ぐらいは確認しておかないとな。

AS：ということで、備えあればきつと憂いはないはずなので、わたしのよう

てつ：自然災害だけでなく交通災害にも気を付けよう。

しんのすけ：台風は怖いぞ……。ウルトラマンに襲われるぞ……。

めん：じゃあ、台風で単位も一緒に飛んだ人も飛ばない人も後期に頑張っ

て進級しようね♡

火災共済の保障期間は1年間です。上級生の方、入学の時にいったからって安心しないでください。期限切れおよび継続の通知は親の方へ行くので、親に一度確認をしてから更新に行きましょう。

雷が近付いてきたら、落雷のショックで、電話、テレビなどの精密機器が壊れないように電源を抜いておこう。

現金、預貯金証書、定期券、クレジットカード、貴金属、宝石、宝玉、船舶、自動車（125cc未満の原付は除く）、動植物等は家財に含まれない。給付が受けられるのは、自分のうちの建物、敷地内にあるものに限られる。地震、噴火、津波によって生じた事故は保障されないので気を付けよう。

推定身長30cm, 推定体重57.7gだそうだ。

内閣総理大臣の警報がでたら、路上にいる場合キーを付けたままドアをロックせずに車を降りなきゃいけない。駐車場に置いてある場合にはキーを掛けておいてもよい。

ちなみに、各役所の電話番号は

千種区役所総務部 ----- 052-753-1811

昭和区役所総務部 ----- 052-731-1511

消防局防災室 ----- 052-972-3522

という彼は自動車学校生。

オキナワの旅の報告

manta

manta まんた

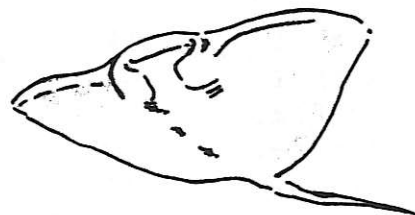
manta まんた

by たへ

みなさん、こんにちは。オキナワの旅って知っていますか？今年8月26日～31日に行なわれ、名古屋大学からは平和憲章懸賞論文入選者を含む4人が参加しました。また、このオキナワの旅は大学生協東海地方連合で企画している旅なのですが、いま生協を大学に作ろうと頑張っている南山大学の人たちも参加しました。そこで、今回はオキナワの旅で行ったコースと、参加者の中から4人の人の感想を紹介します。

オキナワの旅ってな～に？

オキナワの旅というのは大学生協東海地方連合が企画している旅で、実際に沖縄の戦跡や基地、自然をみることで平和や環境について考えようというものです。座間味島という離島で海水浴を楽しんだり、ガマ（自然の洞窟を利用した壕）や米軍基地の話聞いて平和問題を考えたりしました。



オキナワの旅に行って

座間味島の古座間味ビーチの白い砂浜をぬけ、青い海に飛び込むと、そこはもう別の世界だった。見たこともないような魚やサンゴがうごめくところを抜けると、その先は一面の青い海。何の変化もなく時間が止まったようだった。

しかし、この美しい海も年々汚され、サンゴは激減の一途をたどっている。ひとりひとりが海を汚さないように気をつければ防げる汚染もある。一度破壊した自然を元に戻すことはできない、これを念頭において環境のためにできる身近なことからやってゆきたい。沖縄の青い海にそう教えられた。

(名古屋大学1年村松哲行)

もっとも印象に残ったのはガラビ壕だった。それは急な斜面にある洞窟でとても奥深く続いていた。中は真っ暗闇で、周囲は何も見えない。ただ水の流れる音だけが聞こえている。そこで戦争の証言を聞いた。いま、私が座っているこの場所に凄惨な人々の血がしみ込んでいるんだ、と思うとぞっと背筋が寒くなった。自分で沖縄を訪ねる前は戦争というものが昔行なわれていたんだなあとしか感じていなかったが、行ってみると実感として自分の肌で直に感じる事ができた。これからは戦争をしないためにどう行動できるか考えていきたい。

(南山大学2年荒川恵美)



沖縄に着いてまず目についたのは、延々と続く基地のフェンスでした。オキナワの旅の間、バスで回っていると大体どこにいても米軍基地があります。「沖縄」の”青い海”っていうイメージとは全然違う風景でした。その中でとくに印象に残ったのは、嘉手納基地という飛行場です。わたしたちが基地をみている間も、何機もの飛行機が離陸していきました。その音のうるさいことといたら…！基地のそばに住んでいる人は、毎日たまらないと聞いています。

私の住んでいる東海にも基地はあります。沖縄の基地をみて、話を聞いたら、基地のことって他人事ではないんだなと思いました。もう少し自分のまわりの基地のことも、知ってみたいです。

(名古屋大学2年近藤多恵)

私がこのオキナワの旅でとくに深く知ることができたのは、戦時中に起こった、“集団自決”の事実でした。チビチリガマという小さな壕には、集団自決に使われた刃物や人骨、入れ歯などが生々しく置いてありました。そしてそれは遺族の方が「皆にこのことを知ってほしい」という一心で、辛いけれどわざと人目にさらしているのだと知った時、私はこのことを多くの人に知らせなければ、と強く思いました。

他にも、広すぎる米軍基地、豪華すぎる米軍住居などを実際に自分の目で確かめることができ、沖縄が持っている問題を身近に感じることでできた旅でした。

(南山大学2年杉野優)



さて、タイトルの「まんた」というのは、皆さんのご存じのとおり、でっかいじゅうたんがひらひら飛んでいるように泳ぐ魚の名前です。沖縄の海にも住んでいるんですよ！

今回の「まんた」、いかがでしたか？私たちは実際に沖縄に行って、色々なことを見たり考えたりしてきました。これからもそれを皆さんに伝えていきたいと思いますので、記事に関する感想などがありましたら、アンケートに書いてくださいね。それではみなさん、1年間この「まんた」をよろしく！

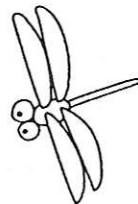
Peace Now! Hiroshima '94

第1回

はじめに

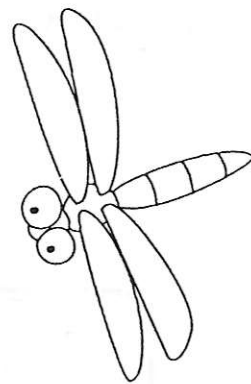
みなさん、こんにちは。今年も広島で8月3日から4日間にわたって、大学生協連主催の「Peace Now! Hiroshima」が開催されました。名大生協からは3名が出席し、それぞれいろいろなことを感じてきました。これからこのコーナーでは、ひとりひとりが特に感じたことを書いてゆきたいと思います。今回は私が担当します。

Tetsu



私にとってPeace Now!とは

私はこの企画を通じて、被爆者の話を聞いたり、広島市内を遺跡を見ながら歩くことで原爆の事実を知り、核兵器が存在することの無意味さを感じさせられました。さらに、参加者とお互いに意見を出しあってゆく中で、被爆した人たちの生活と対比して、自分たちはどう生きてゆくべきか、平和のために何をすべきかを考えることができました。広島市内を歩き、街を歩く人たちに平和をアピールする平和行進にも参加し、平和のために頑張っている人たちの姿にふれ、多くの人たちが平和を願っていることを実感しました。



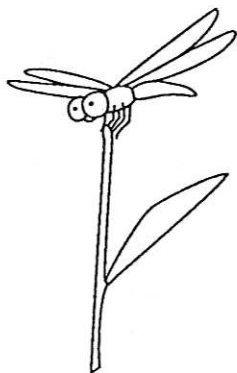
被爆者の話を聞いて

原爆を落とされた当時の状況を、私たちの目の前に描き出すように淡々と語ってくれる様子に、テレビや本とは全く違う衝撃を受けました。中でも、原爆への恐怖を最も強く感じたのは被爆によって受けた精神的なショックの大きさに触れたときでした。原爆は被爆した人の体だけでなく心も、そしてその子どもまでも傷つけるのです。

「私は先の戦争に参加した人間だから、自分が苦しむのはしょうがないと思っている。しかし、何の罪もない子どもや孫にまで被爆の被害が及ぶことは耐えられない。私はこのように何代にもわたって人間を苦しめる兵器が許せない。だから自分がその非人道性を語りつぐことで核兵器がなくなるならと思い、つらい思いを話している。」という言葉が印象的でした。

戦争が終わって半世紀近くたった今も被爆した人たち、そしてその子どもたちも原爆の被害に苦しみ続けています。そしてこの先、その人たちの子ども、またその子どもと続く流れの中で苦しむ人たちがいるのです。私たちがしなければならないことは、そのように未来にわたって何の罪もない人たちを苦しませ続ける核兵器をなくし、同じ人々を二度と作らないことではないでしょうか。

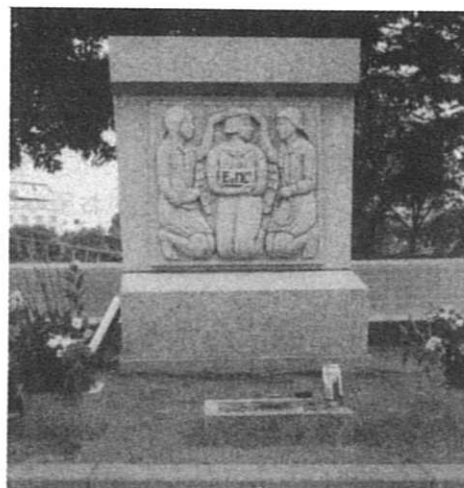
広島市立高女の慰霊碑に刻まれた式



右下の写真は、広島市立高女の慰霊碑と呼ばれている、原爆でなくなった広島市立高女の生徒・職員676人のための碑です。この慰霊碑を見た瞬間に私の目に飛び込んできたのは、碑の中心に刻まれた、「 $E=MC^2$ 」という式でした。占領軍のプレスコードによって禁止されていた「原爆」の文字の代わりに「原子力エネルギー」の公式として「 $E=MC^2$ 」という式が刻まれたのです。

ここでこの式と原爆の細かい関係について触れようとは思いません（興味のある方には、「狂乱読書日記」で私の紹介している本をお薦めします）。知っておいてほしいのは、この式が純粋な物理の式として提唱されたにもかかわらず、悪用され原爆という魔物を作り出したという事実です。原爆に限らず、科学は常に恐ろしいものを作り出してきました。科学とは人間にとって諸刃の剣であり、常に危険な面を持っているということを改めて認識しました。そう認識することによって、科学が危険なものを作り出そうとしたときに、私たちはそれを止めることができるはずです。

この慰霊碑は科学を利用する私たち全員に、再び同じ過ちを繰り返すなど警鐘を鳴らしているように見えました。



終わりに

今回、私は広島に行き、49年前に起こった事実を自分の目で確かめることで、核兵器の恐ろしさを知り、今の平和が多くの人たちの犠牲の上に成り立っているものであるということが分かりました。皆さんも、本、テレビ、私たちの報告などを通じて、平和のことについて考えてみてください。そして、機会があったら広島へ行って、自分の目で確かめてもらいたいと思います。

組合員の声コーナー



皆さん、こんにちは。

最近秋を感じる事が多くなりました。秋といえば…何でしょうね。食欲、読書、スポーツ、etc. etc. 要するに何をやるにもよい季節だということですね。今回はテストがあったせいかカードの利用が少し少ないのですが、頑張ります。



Q) 食堂のハヤシライスはあと100円高くても具が多い方がいいです。あれではハヤシライスではなくてデミグラソース丼です。(液体ふりかけご飯でも可)

A) 企画でハッシュドビーフ丼は420円でやりますのでよろしくお願いします。

コメント⇒確かに具が少ないようですが、たまには多いこともあるようですよ(ちなみに私は食べた事があるはずですが、気にもならなかったのか記憶にありません)。ハヤシライスの具が気になる方は、さらなるご意見、ご感想などお聞かせいただくと「ハヤシライスの具について語ろう」などというような話もできるかもしれませんね。待ってます。また、ハッシュドビーフ丼についてですが、11月28日から行われる「ビーフ企画」の中で、シチュー、焼肉などのメニューの一つとして企画されています。これなどがお望みの「ワンランク上のハヤシライス」といった感じになるのではないのでしょうか。あと100円高くすることについてですが、企画としてはいいと思いますが、常にその値段になってしまうと、お気軽メニューが減ってしまって悲しむ人が出ると思います(私もその一人です)。

Q) 北部食堂のデザートで、ブッセケーキをやめ

てしまったのはなぜですか。絶対復活させてください。

A) 一度ケーキフェアをやりましたが、管理とか利用者も少なく、ロスになり困りましたので中止しました。暑いときにはできませんので、秋以降やるときは宣伝します。

コメント⇒残念ながら北部食堂での復活の予定はない模様です。理由1:デザートにケーキを食べるということを名大生はなかなかしない。理由2:ケーキが卵や豆腐の置いてある所に置いてあって綺麗でない。しかし、やはりなんといっても利用者数の問題のようです。皆さんデザートにケーキはいかがですか?パンだが屋で10月11日~14日に、ケーキ限定50個、120円という企画があるそうですよ。

Q) お米屋さんにも新米が並び始めました。生協の食堂は今年“新米フェア”をやるますか? やるとしたらいつ頃ですか?

A) 10月頃には新米フェアをやりたいと思います。

コメント⇒新米フェアは11月7日~12日に行われます(ちょっと楽しみ)。でも値段が少し高くなるそうです。またフェアが終わっ

た後は政府標準米に戻るんだそうです。しかしそれが必ずしも古米になってしまうということを意味するわけではないようです。（ちょっと期待）。

- Q) 北部のラーメンコーナーはしょっぱくてくえん。
 A) ラーメンの元のスープが塩分が強くてブイヨンでのばしていますが、もう一度見直して基準を直しましたのでよろしくをお願いします。

コメント⇒これは確かにラーメンの汁がしょっぱいという事実があったそうです。具体的にどう変わったかという点、もとのスープとブイヨンの比が少し変わったそうです（薄くなったとも言える）。きちんと味を検討した上での変更だそうで、単に「もっと辛くしてくれ」だとか、「甘くしてくれ」だとか言えば変わるといったものではありません。

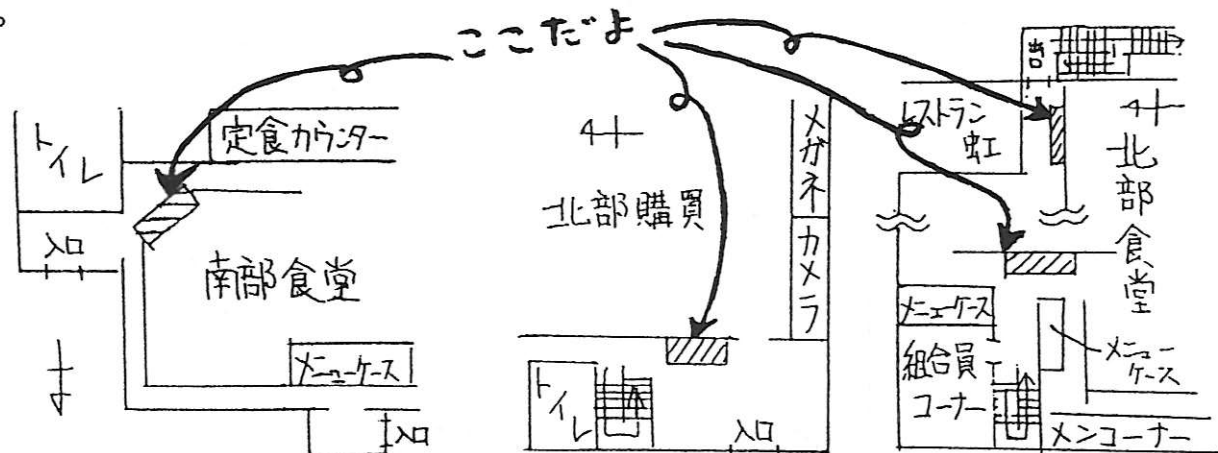
声カードを利用してくださる皆様へ。

声カードは、組合員、生協で働いている人、いろんな人が楽しみにしているものです。

できれば身分、名前（フルネームでなくとも名字だけ、名前だけでも構いません）を書いていただきたいと思います。これは、書く側、答える側の誠意に関係すると思うのです。出された声は一つずつ吟味され回答されていて、改善すべき所は改善していますので、誠意ある声カードをお願いします。これからもますます声カードを利用してください。楽しみに待っています。



組合員の声カードは、北部食堂・北部購買・南部食堂、他にある組合員の声コーナーに置いてあります（詳しい場所は、下記地図参照）。最新の質問とその回答は、そのポストに貼ってあります。



あなたも、生協に対する自分の質問や意見を書いてみませんか。

ゆうべのひとこえ



Me~dia 7の記事は
いかがでしたか？

いまどきの名大生協活動報告

割戻しは有難いですね。

(ハカイダー)

→はい。忘れないように請求してくださいね。

(うひひなつき)

こういう何でもない事務が一番大切だと思う。

(渡邊 綱)

→ありがとうございます。今後もよろしくおねがいます。

(うひひなつき)

割戻しで金銭が実際に返してもらえる日にちが少ない。以前請求したが、もらいにいくのを忘れて損した。あと、割戻しの仕組み自体、宣伝が少ないし、手引きを読んでもわかりにくい。

(ば)

→割戻しの請求日数などは検討していきたいと思いますので、周りの方々にも宣伝して下さいね。

(うひひなつき)

とりあえず共済メイトをもらいに行こうと。

(きいちくん)

→共済メイトはほんとオススメです。こちらの方もアンケートを書いてみて下さいね。

(うひひなつき)

生協では、草枕なんてものを売っているのですか。

(古屋 徹)

→いぐさ枕を夏の虹のついでで扱っています。

(うひひなつき)

ちょっといまいち

(K.S.)

→どのあたりがいまいちか教えて下さいね。よろしくおねがいます。

(うひひなつき)

夏物語・花火特集

しんのすけの花火講座、なかなかつかえそう。

(きいちくん)

→このコーナーのこの部分は、初めて100%僕が担当した記事で、こうしてもらえると本当にうれしいです。今号からは、新しい担当記事をもちましたので是非そちらの方も読んで下さい。また、新連載第一回は君と全国のしんのすけファン(本当にそんなのいるのか?)に捧げます。

(しんのすけ)

狂乱読書日記

今回は理科系の本がない。文系のみなさま。もっと科学に興味をもちましょう。

(注:文系のみなさんというのは読書日記を書かれた方に対していっているのではない。)

(ば)

→今回いろんな種類の本を紹介してみたので科学の本に限らず色々な本をよんでみて下さいね。

(AS)

食環班の3分間News

考えてみれば、和紙は草から作っていたんだよな。

(きいちくん)

→だから、草などから紙が作れるってのは当たり前のことなんですよ。木を使ったほうが安定的に安く材料が手に入るという理由で、木から紙が作られるようになったのですが、いつのまにか木からでしか出来ないとはいってしまおうようになったんでしょうね。

(お天気ちえ)

Tree Free Paperも問題はコスト。いくらよくても高ければ普及しない。開発に携わる方、頑張ってください。

(ば)

→実際にどのくらいの値段でいつごろどこで販売されるかという情報をまだつかんでないので、それがわかりしだいまたお知らせしますね。

(お天気ちえ)

下宿生活を斬る

学生は勉強するんだよ！（たてまえは）
（きいちくん）

→そうですね。勉強は大切ですね。単位は通りましたか？（めん）

私鉄（近鉄系をのぞく）でバイトして、職務乗車証を手に入れると、かなり交通費が浮く。私の知人は、東京から掛川までローカルバスばかりのりついでタダで帰省したことがある。「JRが通っていれば大丈夫」とあるが石勝線はどうなる？「学割証節約のため、連続きっぷを使う」といったことを紹介してほしい。

（左オーライわかってる）

→といわれても、僕にはよくわかりませんので、今月のアンケートでもう少しくわしく紹介・説明していただけると、非常にありがたいです。（めん）

ごー・とう・ざ・しねま

いつのまにかビデオのコーナーになっちゃったようだしなー。「ごー・とう・ざ・しねま」の名が泣くぞ。「月はどっちに出ている」なんか女の子を誘ってみにいったというのに。

（HAXON）

→こんな意見は他にもありましたが、本当にすいませんでした。実をいうと、前号の編集後記にも書いていたとおり、映画の紹介を書いていたのですが、Me~diaの配布の前にその映画がおわってしまったのでした。それと、僕自身はどうも映画館から離れがちになってしまって……かわいい彼女でもいれば映画館に行くのですが……。 （しんのすけ）

ぐるくん

沖縄南部には高い木がほとんどないらしい。（戦争で全てやけたから）そいつを見てきて。

（きいちくん）

→本当に、沖縄南部の木は戦争でやけてしまったそうです。でも沖縄は亜熱帯で木の生長がはやいから、戦後にはえた木がもうずいぶん大きくなっています。

（たへ）

広島では朝鮮人慰霊碑を平和公園内に作らせないなどということもありました。朝鮮人に限らず多くの人に迷惑をかけたことを、もっと知るべきだと思います。

（古屋 徹）

→その通りだと思います。自分たちが戦争で何をしたのか、そして今何が起きているのか、きちんと知りたいですね。

（たへ）

Peace Now!ヒロシマとナガサキに行って

私は「当事者でないものは感想を言うべきではない。」とは考えておりません。

（ば）

→評価も厳しいですね。直接はアンケートの回答としての文章ですけれども、言いたかったことはそれだけにはとどめていなかったつもりですが、ご不満でしたか？（SUM）

右下のCONTENTSのような、意味不明の挿絵は、やめて下さい。ふざけているようでもったいないです。

（古屋 徹）

→そうですね。以後気をつけます。

（SUM）

unicefのページ

北部食堂のレジの陰になんかの募金箱があったけど、あれもそうなのかな。あんなせわしいところにおいてもねえ。支出のグラフはいいけど総額がわからないよ。

（ば）

→北部のレジの所にあるのはユニセフの募金箱だと思います。もっと目立つようにしたいと思います。グラフについては、総額については手もとに資料がなかったのでそうになってしまいました。

（ごちよび〜）

最近、募金額の報告を見ないような気がします。

（古屋 徹）

→ここしばらく、募金の送金は行なっていましたが、その額を学生委員会で把握できていませんでした。早いうちに報告を再開したいと思います。

（ごちよび〜）

組合員の声コーナー

何故、普通の箸だとラーメンが食べにくいのか、理解に苦しみます。

（古屋 徹）

→思うに、普通の箸はつるっとしているのでラーメンをはさむときにすべってしまうからではないでしょうかねえ。私も理解に苦しみます。（Kei）

食堂で喫煙している馬鹿がいるが（とくに南部で多かった。北部は少なくホッとしている）、あれ、なんとかならないか。我々では注意しにくい。やはり、専従さんが見まわって、注意してもらいたい…ということは声カードに書くのか。

(ば)

→私は、食堂で喫煙している人を見たことはないのですが…。専従の方が見まわるといことは「いそがしいのでできません」とのことでした。私達の方でも全食堂全面喫煙禁止であることを宣伝していこうと思います。

(Kei)

Nagoya Univ. Information

商魂のたくましさを感じる。（でも歴史と平和で千円は安い。）でも好企画。

(HAXON)

→好企画といってもらえるのはうれしいです。でも企画したのは商売のため、というわけではありませんので……

(だまし)

工学部3、4年は9/12(月)から試験が始まったのでした。なお終わりは一緒。他学部はどうだろう。

(ば)

→私の調査不足でした。すいません。

(だまし)

こういうコーナーを毎掲載せるとよいと思います。

(古屋 徹)

→ありがとうございます。そのつもりです。お願いします。

(だまし)

最近面白かったこと、
興味のあることはなんですか。

やはり献血でしょう。来年四月からは成分献血も1回としてカウントされるようになります。回数稼ぎはお早めに。このペンネームの発祥の地であるグッたむに、コンスタントに掲載されるようになって、うれしい。

(左オーライわかってる)

Me~diaへのご意見、ご感想、
ご要望、その他何でもどうぞ。

最近、写植の文字を見かけなくなったけど、なぜ？ 編集後記のしんのすけ氏の似顔絵にシルクハットを書き足したのは私だけではあるまい。ローカルラジオ番組の特集をやってほしい

(左オーライわかっている)

→どうも、指名料は無料のしんのすけです。私も実はシルクハットを書き込んだ1人であったりして……。今後ともMe~diaに記事を書きますので、そちらのほうも読んでください。また、写植の文字がみられなくなったのはMacintoshで編集をするようになったから だそうです。

(しんのすけ)

Me~diaはどれくらいの期間に一回の割合で発行されるのですか。

(K.S.)

→だいたい1~2ヵ月に1回の割合で発行しています。きっちり何ヵ月に1回といえないのは、夏休みやテスト期間など大学の年中行事によってずれてくることがあるからです。毎号編集後記の下に次回発行予定日が書いてあるので、そちらも見てくださいね。

(Chie)

食堂にお知らせを置いたのは、良いアイデアだと思いますが、字体にこりすぎていて、読めない部分があったのが残念です。また、パズルかなにかの連載をやってください。

(古屋 徹)

→今回から新連載のクイズのページが始まりました。どうぞよろしく。

(Chie)

Me~dia 7 アンケート当選者

K.S.	(理・1年生)
HAXON	(工・4年生)
左オーライわかってる	(理・M1)
樋口 誠	(工・3年生)
ひなた	(文・1年生)
A.I.	(文・4年生)
赤面の者	(法・2年生)
ハカイダー	(理・M2)
きいちくん	(理・1年生)
古屋 徹	(工・2年生)

●当選者の皆様、おめでとうございます。図書券は後日発送致します。

<今回のアンケートは11枚でした>

Me~dia

Information

じつは、Me~diaではこれまで20前後アンケートが集まっていたんだけど、Me~dia 7で突然11枚に減ってしまったんだ。そういうわけでアンケートのことにちょっと知ってほしいから、このページを使ってまたまた説明します。

アンケートっていろんな雑誌についていると思うけど、書いたことあるかな？雑誌を書いている人にとって、アンケート、つまり読者の声ってとっても大事なんだ。書きながら、もっと多くの人に読んでほしいって考えると、その雑誌のどこがよくてどこが悪いかを確かめたいと思うよね。そこで利用するのがアンケート。

ここでこんなことをわざわざ書かなくてもわかっているよ、そう思っている人が多いのは認めるよ。でも、アンケートを出す人が増えてほしいというのは正直なところなんだ。

Me~diaを変えるのはじつは、読者の皆さんなんだ。学生委員会だけで書いていると、わざわざ読みたいと思ってもらえるものにはなりそうもない。いろんな人に呼びかける大学生活を知ってもらえる本として心許ないんだ。そこで、どうやって読者と執筆者・編集者との間を無くすかっていうのが課題なんだ。多くの人が、Me~diaを作ることに間接的にでも関わることでいろんな大学生活にマッチしたMe~diaつくることできるんだよ。

どのように関わるかだけど、私達が呼びかけるのもあるけれど、みんなからも積極的に関わってきてほしいと思うよ。

でも、アンケートの回収数が急に減ってしまったので、この場所をつかってまた宣伝させていただきます。

まずは、学生委員会室の住所だよ。

郵便番号 464-01
 名古屋市千種区不老町1
 名古屋大学消費生活協同組合
 学生委員会行

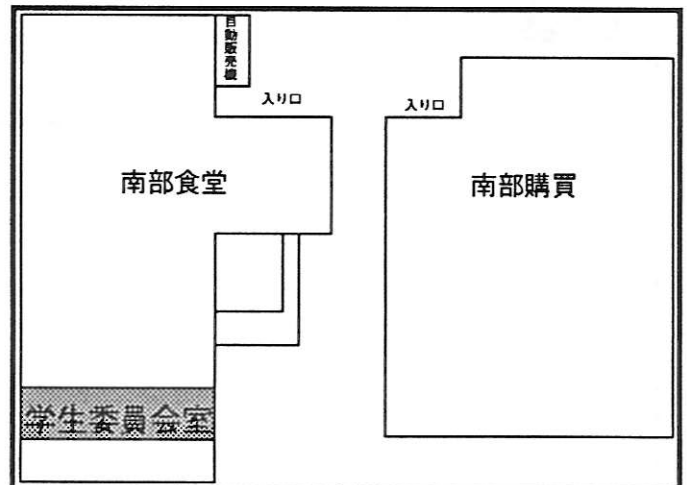
郵便はこれで届きます。不幸の手紙は出しちゃダメ。編集者・執筆者へのファンレターは、この住所で送ってね。

電話で問い合わせをしたい場合には…

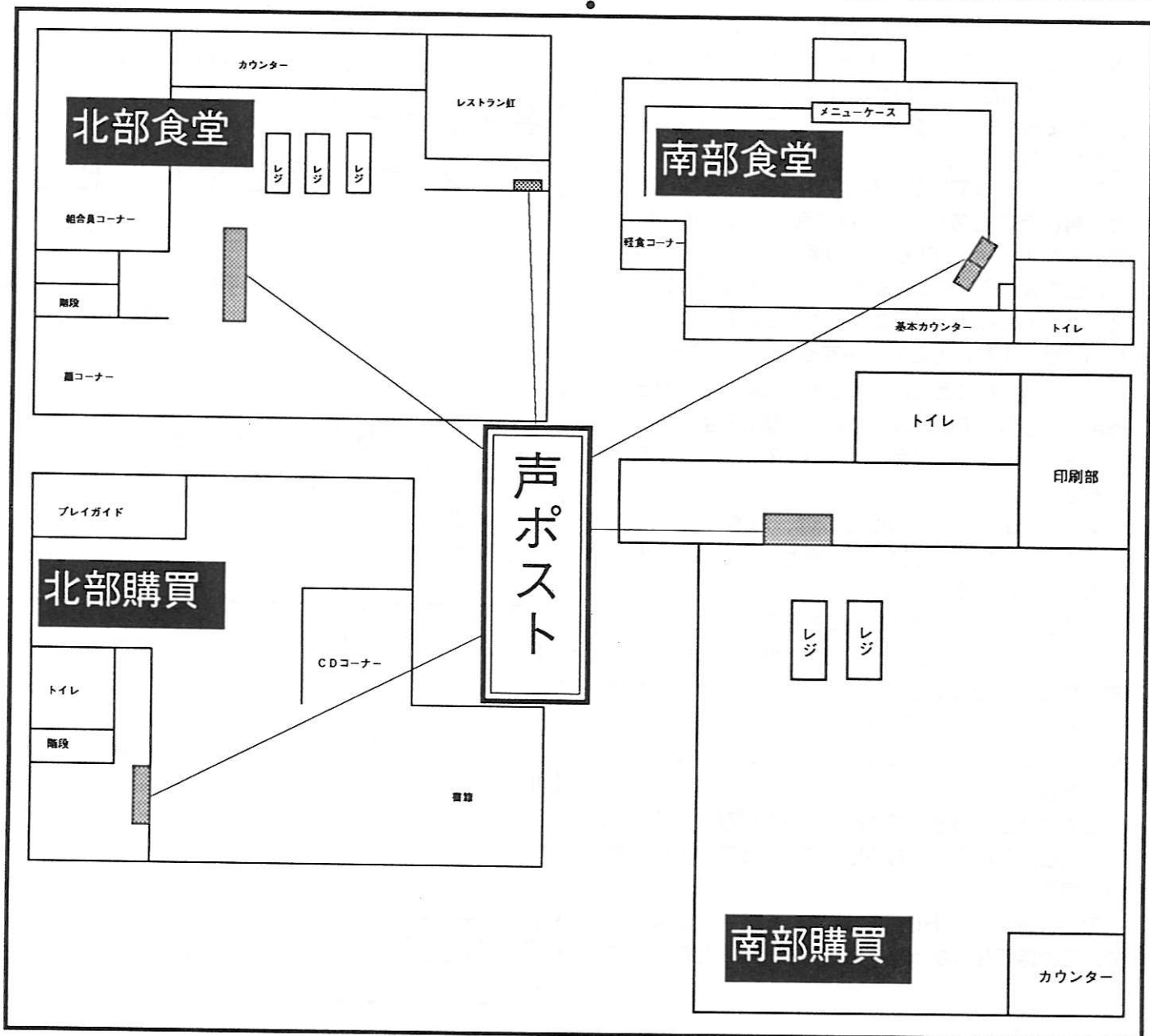
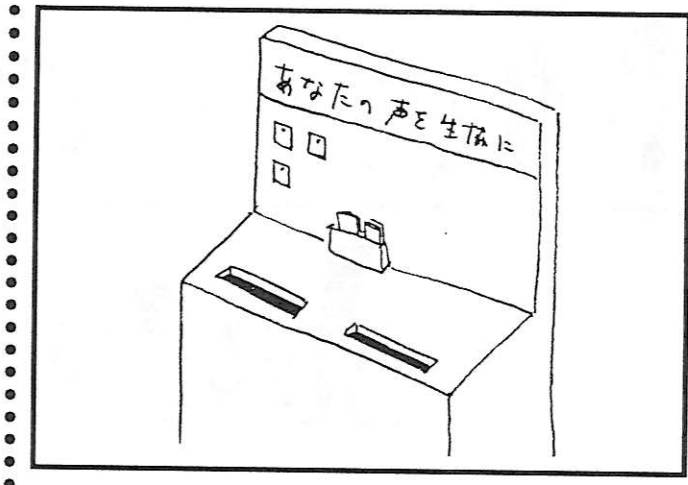
052-781-5195

直通だよ。ちなみに、年中・24時間営業中だったりする（おいおいそれはウソだよ）。

場所は下記の地図を参照してね。



ところで、組合員の声ポストって知ってる？
 右の絵のようなピンク色の箱を生協のお店（フレンドリー南部は別だけど）で見かけたことはない？それが、組合員の声ポストなんだ。あなたが今手にしているこのMe~diaがのっていた箱ってこともあるのだけど、各大生協の店のどこにあるかを図示するね。ということで、いろんな手段でMe~diaにかかわっていいね。



Information of Nagoya University

～名古屋大学 秋の学園情報～

後期日程もスタートし、あの暑かった夏が嘘のようにすっかり秋らしくなってきました。秋といえば昔から「食欲の秋」「読書の秋」等ともいいますが、やはり何と言っても「スポーツの秋」、そして「学園祭の秋」でしょう。

「学園祭」と言っても名大祭は6月にとっくに終わっちゃったし…、という人もご安心を。南山、椋山、金城…、周りの女の子いっぱい学園祭に遊びに行こう！って、そうじゃなくて、（いやそれもいいんだけど）名大には何と秋にも「秋祭」と呼ばれる2度目の大祭があるのだ!! 知らなかった人は驚きましよう。知ってた人は長い前振りでごめんなさい。

また、サッカーや野球観戦もいいけど、名大生のがんばるスポーツの応援に行ってにませんか？

またこのコーナーでサークルの公演等の宣伝・お知らせがしたい団体がありましたら、名大生協学生委員会室（☎781-5195）まで御連絡下さい。

< 第18回秋祭 >

○秋祭本部実行委員会企画

< All Night Skating '94 秋祭 >

～こんな夜もいいじゃない～

名大祭のお祭り企画と言えば知名度No.1のAll Night Skating。春には大須で行われましたが、今度は星ヶ丘で素敵な夜が待っています。もちろんスケート以外にも、様々な企画が貴女を興奮の垣根へと誘います。貴女の心は“帰りたくないわ…”

< 場所 > 星ヶ丘スポーツP&S

< 日時 > 11月18日（金） 21:00（開場）

～19日（土） 6:00

< 料金 > 1800円

（名大学生証および割引券持参時は1500円）

- < 注意事項 >
- ・手袋を持参下さい。
 - ・大学生、院生以外の入場をお断りします。
 - ・料金は靴代込みです。

< 名リーグ >

～もっと蹴って～♥♥♥～

6人制のサッカー大会！試合の合間にはおもしろい企画あり？今が旬のサッカーをちょっとミニサイズで味わって下さい。

< 場所 > 山の上グラウンド

< 日時 > 11月23日（祝） 13:00～

< 料金 > 1チーム 500円

< Dance Party >

～激震空間～

「徹スケ」に続くお祭り企画第二段！！場所をVigoro（栄）に移し、リズムに乗ってDance,Dance,Dance！ジーンズもOK！FreeDrink&サンドイッチもあり飲んで踊って気軽にtrip！

< 場所 > Elegancia Virgo

< 日時 > 11月26日（土）

13:00～16:00

< 料金 > 未定

文責：秋祭本部実行委員会

編集：じょう

<研究所公開・講演会>

～二千年目の科学～

学内の研究所とその施設の公開および大学院の新しい2つの研究科による講義を行います。研究室は見学者を募集し、講義は当日参加ですのでみなさんふるってご参加下さい。

<日程>

【研究所】

・化学測定機器センター	10/29 (土)	14:00～	・大気水圏科学研究所	11/2 (水)	15:00～
・太陽地球環境研究所	11/5 (土)	13:30～	・核融合科学研究所	11/9 (水)	15:00～
・生物分子応答研究センター	11/12 (土)	10:30～	・環境医学研究所	11/16 (水)	15:00～

【講演会】

・人間情報研究科	10/29 (土)	10:30～	・国際開発研究科	11/12 (土)	13:30～
----------	-----------	--------	----------	-----------	--------

<応募方法>住所、氏名、電話番号および見学を希望される研究所名を往復はがきに明記し、以下の宛先にお送り下さい。

〒464-01 名古屋市千種区不老町1 名大学生会館内 秋祭本部実行委員会 研究所公開係

○1・2年実行委員会企画

<Amature Band Concert>

～近所の苦情に気をつけて～

10程のバンドが、それぞれ個性あふれたステージを繰り広げます。

秋祭の開始を大音響とともに迎えるぜ!

<場所> A館31番教室

<日時> 10月30日(日) 10:00～

<カルチャースクール>

講師を招き、ポプリを制作します。自分の好みの香りを楽しむこともできますし、また自分の手で作る楽しみも味わえます。みなさん是非いらして下さい。

<場所> 学生会館第一集會室

<日時> 11月6日(日) 13:00～15:00

<料金> 500～600円

<チャリティーバザー'94>

～格安で物に命を～

名大周辺の各家庭からまだ使える不要物を出してもらい、当日それらを安価で販売します。集まった収益金は恵まれない人々のために寄付します。

<場所> 共通教育棟ホール前広場

<日時> 11月19日(土)・20日(日)

11:00～16:00

<秋祭 Final>

～「Fina~le」だ!!～

各種サークル、アトラクション、焼き芋大会など、みなさんが参加して楽しい企画が盛りだくさん!!秋祭を締めくくるこの秋祭Finaleに、どうぞいらして下さい。

<場所> 第三グリーンベルト

<日時> 11月26日(土) 12:00～15:00

上記以外でも紙面の都合上載せられなかった企画も色々ありますので、是非ご参加下さい。

お問い合わせは ☎781-5111 (5139) 秋祭本部実行委員会まで

♣10月後半の体育会日程

卓球部

10月22日 各部別大会
(志段味スポーツランド)

ソフトテニス部

10月17日～21日 東海リーグ

舞踏研究会

10月30日 西日本モダン戦

ボート部

10月22日23日 中部学生新人大会
(川辺漕艇場)

10月30日 名工大新人戦
(庄内川)



兄貴の挑戦



(作成：しんのすけ)

始めまして、しんのすけです。とりあえず、このコーナーはMe~dia 6で終了した大喜利善哉の後釜です。つまり、クイズコーナーなのだ。ここで皆さんにお願いがあるのですが……だれでもいいですから、当コーナーにクイズのこたえをアンケート書いて声ポストにいられておいてください。もし一通もなかった場合は、次号からこのコーナーはなくなっているでしょう。(これって本当だからね。)

ほんじゃ、第一問。

同じアルファベットに同じ数字を一文字入れてください。(1)と(2)に使われているアルファベットはお互い関係有りません。

(1)	(2)
P U P I L	B A S E
+ P U P I L	+ B A L L
-----	-----
S C H O O L	G A M E S

どうでしたか？それでは第二問。

Me~dia 6をだましとしんのすけで名大の各場所に300冊配置しました。次の日……

だまし 「しんのすけ、昨日の**Me~dia 6**どのくらいなくなっていた？」

しんのすけ 「100冊以上はなくなったと思う。」

だまし 「残っているやつの1/3が南部食堂、1/4が北部食堂、1/5が農学部購買、1/7が南部購買、1/9がその他の場所にあるぞ」





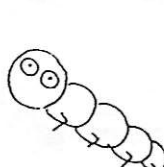

ところが、だましは分数のうち一つだけ間違っていました。さて、いま残っている**Me~dia 6**は何冊でしょう？

いかがでしょうか？もし答えが分かったのなら…… Hey そのYou アンケートにWriteしておくってみな

それと当コーナーに対してのご意見ならびにコメント、そして、皆さんの挑戦をお待ちしています。また、こんなクイズをやってもらいたいなどがありましたらぜひ教えてください。



編 集 後 記

	<p>この夏、めでたくハタチになりました。学生委員内では園児と呼ばれているこの私も、これでやっとアダルトの仲間入りです。(精神年齢の方はどうか知らないが……) 今回からはこれまでとは一味違った大人の魅力でみなさんを魅了してさしあげよう。では、さらばだ、またあおう。ハッ、ハッ、ハッ。(しんのすけ)</p>		<p>ようやく就職が決まってやれやれです。あと半年は卒業まで、ふらふらしていきましょうかね。車が六ヶ月すぎてハンドルがキィキィ言い出しました。困ったものですね。水不足で洗うのを控えていたら、汚くなりました。水がめも潤ってきて、洗おうかと思ったらこの長雨。いつになったら洗えるのやら。(日東)</p>		<p>車に乗り始めて約1年。先日初めて車上狙いに遭い、現金をたくさん盗られてしまいました。そりゃトランクにかばん置いといた私が悪いんだけどさ。悔しいよおお。このやり場のない怒りをどこへやればいいのか分からないけれど、読者の皆さんも十分に気をつけて下さいね。(うひひ♡なつき)</p>
	<p>早いものでもう秋になってしまいました。秋といえは何を思い浮かべますか？わたしの場合「食欲」といいたいところですが、今年は実験が忙しくて「勉強」の秋になってしまいました。おかげでしばらくの間、休みがほとんどとれません。ウォー、思いつきり眠って体を休めたいぞー！！(ごちよび〜)</p>		<p>先月にうちの市外局番が5ケタから3ケタになり、わが町の岐阜市に合併されよう計画もいよいよ本気なのかと思う。去年ごろから、色々なお店が進出してきた。工場がいっぱいあるからお金持ちなので案外あっさりと一緒にいるかもしれないが、それまでに自分がそこにいるかは甚だ疑問である。(みっき〜)</p>		<p>今回はなんと12ページ以上も原稿書きに貢献してしまいました。でも実は、編集後記を書いている今、原稿はまだ完成してなかったりする……。これで私が全部原稿落として逃げたらどうなるのかなあ、とか楽しい秋の夜の回想に耽っている今日この頃なのです。さて、お腹がすいたからご飯食べに行こつと。(こまったAS)</p>

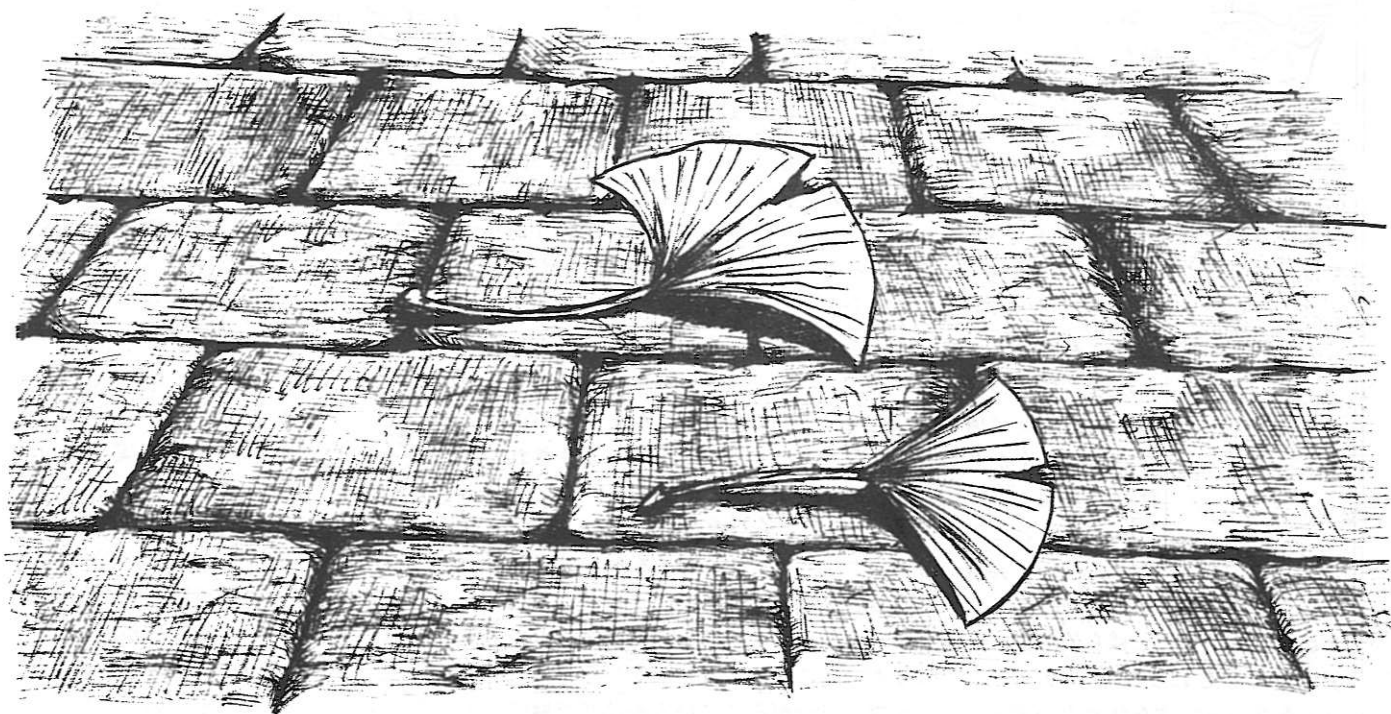
Me~dia10読者アンケートの締切は11月15日です。

読者の皆様一人一人のご意見をスタッフ一同心からお待ちしております。

次号Me~diaは12月5日発行予定です。おたのしみに!!

Me~dia10(#36) 1994年10月19日発行						
発行 名大生協理事会						
編集 名大生協学生委員会 (Tel 052-781-5195 [直通])						
石井進也	玉越賢治	近藤多恵	宮田武幸	松村浩如	日東久哲	
伊藤隆	南野陽子	澤田篤志	綿田欽一	榎並道尋	長谷川知紀	
奥山慶	村松哲行	長坂啓司	青木譲	後藤智和	比嘉正人	
熊野典雄	山本暁子	長嶋千恵	下野健一	牧野伸太郎	百瀬陽	
嶋田芳仁	旭紀子	花木祐子	豊田修慈	森明子		
田岡精智	小澤英裕	兵頭純子	林奈月	和田志朗		
印刷 名大生協印刷部						

Me~diaは再生紙を使用しています。



名大生協ニュース「Me~dia」は名大生協学生委員会が編集し、理事会が発行しています。Me~diaは名大生協の活動・総代生協委員の活動を組合員に伝え、意見を頂く場でもあり、また、様々な生活の知恵などを伝える場でもあります。みんなの意見を反映させ、より良い生協にしていくために、使いやすい生協にしていくために、ご意見やご感想をお待ちしております。

裏表紙：だまし